

学校名 深谷市立藤沢中学校
所在地 深谷市人見1973
電話 048-571-0742

1 本校の概要

本校は深谷市の南に位置し、600本以上の木々に囲まれた緑豊かな学校である。全体的に穏やかで心優しい生徒が多く、「確かな学力の向上と健やかな心身の育成」という学校教育目標の実践に向けて、地域の協力の下、特色ある取組を行っている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ積極的な態度や、望ましい読書習慣に係る取組
- ・ 言語活動の充実に向け図書を利用した学力向上のための取組

(2) 実践の概要

ア 朝読書

《概要》毎朝、朝の会の前に8:20～8:30の10分間で読書をする。

《目的》朝の落ち着いた雰囲気の中、決まった時間に読書をすることで自然に読書習慣を身につけさせる。

イ 総合的な学習の時間における、探求及び課題解決学習（パースト学習）

《概要》学年・クラスを越えて組んだグループごとに課題（調べたい、知識を深めたいこと）を設定し、図書室の本や市立図書館から学校がレンタルした本を使って課題を解決する。

《目的》複数の資料を使う中で適切な情報を取捨選択し、効果的に活用する。そのことによって自らの力で課題を解決させる。



ウ ブックトーク

《概要》国語の授業の中で設定されたテーマに沿った本を選び、クラスに紹介する。

（例：『ベンチ』の授業後

→人権と平和、戦争に関する図書）

《目的》普段自分ではなかなか手にしないジャンルの本に触れることで見聞を広めさせるとともに、他人の紹介を聞き、本に関する様々な意見や視点を発見させる。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 毎日こつこつと積み重ねているので、三年生はもちろん、一年生も四月から比べて生徒が自ら静かに本が開けるようになったなど、望ましい読書習慣が身につけてきた。

イ 各授業の調べ学習や総合的な学習の時間を通して、図書室を情報収集センターとして上手に活用し、自らに必要な情報を選べるようになった。

ウ 授業の実施後、生徒の自己評価カードのコメント欄には「自分の知らないことがたくさんあることがわかった。」「色々な本を知ることができてよかった。」という意見が書かれており、本に親しむ態度が養われていることがわかる。

(2) 課題

本校の生徒は授業の中で図書室を利用する機会が多く、かまえることなく図書に触れることができています。読書量も全体を通じて多いが、三年間で授業以外は図書室に訪れたことがないと言う生徒がいることも事実である。今後も図書館使用者が増えるよう、図書館司書と協力し、多様な取組を参考にさせていただきながら、更に魅力ある図書室を作っていきたい。